

令和7年度 事業計画（案）

《 基 本 理 念 》

「住民と共に歩み、生き、その人らしく暮らせる地域づくり」

《 基 本 方 針 》

少子高齢化や核家族化が進行する中で、新型コロナウイルス感染症の影響も重なり、地域のつながりの希薄化がさらに加速し、また世界情勢の変動等に伴う物価高騰により、地域社会を取り巻く環境は大きく変化し、住民の抱える福祉ニーズは更に多様化・複雑化しています。

そのことを踏まえ、一人ひとりが尊重され、複雑かつ多様な問題を抱えながらも、社会との多様な関わりを基礎として、自律的な生活を継続していくことを支援する機能の強化が求められています。地域共生社会の理念である、人と人、人と社会がつながり、一人ひとりが生きがいや役割をもって、助け合いながら暮らしていけることができる包摂的コミュニティ、地域や社会をつくる必要があります。

本年度は、鶴田町社会福祉協議会第1次地域福祉活動計画（令和5年度～令和7年度）の最終年度にあたり、これまでの計画実施状況の点検や評価を行い、鶴田町で策定する第2次鶴田町地域福祉計画との連携を図り、第2次地域福祉活動計画を作成してまいります。

当協議会の基本理念である「住民と共に歩み、生き、その人らしく暮らせる地域づくり」の実現に向けて、地域の社会福祉法人・福祉施設や民生委員児童委員をはじめとした社会福祉関係者、行政と連携・協働し、地域福祉推進を担う中核的団体としての役割を果たして、下記の基本目標・基本計画の達成に向けて各種事業を実施してまいります。

《 基本目標・基本計画 》

基本目標1 福祉を伝える人づくり

基本計画① ボランティア活動の推進

- ② 福祉教育の推進
- ③ 広報・啓発活動の充実

基本目標2 誰もが安心して暮らせる仕組みづくり

基本計画① 相談支援体制の充実

- ② 福祉サービスの充実
- ③ 社会参加・生きがいのづくりの推進

基本目標3 みんなで支えあうまちづくり

基本計画① 住民主体の地域福祉活動の推進

- ② 地域の交流の場づくり
- ③ 地域福祉活動の基盤強化